

本稿はブラックロック・インク（ニューヨーク）が2017年1月3日に発表した英語版のプレスリリース“iShares leads global ETF industry with record inflows of \$140 billion”の本文をブラックロック・ジャパン株式会社が日本語訳・編集したものです。原文と齟齬が生じた場合は原文の内容が優先されます。

iシェアーズへの資金流入は過去最高の1,400億米ドル、世界のETF業界を牽引 2016年の成長の原動力となったのは債券、コアおよびスマートベータETF 2017年のETFおよびインデックス投資の見通し

2017年1月12日（東京） – ブラックロック・インク(NYSE: BLK)のETFブランド「iシェアーズ」は、債券、コア資産およびスマートベータの各ETFへの資金流入を背景に、2016年のグローバルベースの新規資金流入額が過去最高の1,400億ドルに達し、世界のETF市場を牽引しました。iシェアーズのグローバルな規模、多岐にわたる品揃え、継続的な革新が、前年比13%増となるiシェアーズへの資金流入を支えました。

なお、2016年の世界のETF市場全体の資金流入額は3,750億ドル¹となり、前年の3,480億ドル²を上回りました。

すべての分野で過去最高を記録³：

- 米国市場におけるiシェアーズへの流入額は過去最高の1,070億ドル（2015年は970億ドル）を記録し、欧州市場での流入額は業界最高の320億ドルとなりました。米国、欧州ともにiシェアーズは引き続き市場シェアで業界首位となりました（米国は38%、欧州は61%）。また、アジア太平洋地域の投資家からのiシェアーズへの流入額は100億ドル⁴を超え、過去最高となりました。
- iシェアーズ債券ETFへの流入額は過去最高の600億ドルとなり、全世界における債券ETFへの流入額の52%を占めました。米国市場におけるiシェアーズ債券ETFへの流入額は380億ドル、欧州市場では210億ドルであり、共に過去最高となりました。

¹ 2016年12月29日時点のマーケットおよびブルームバーグのデータからブラックロックが算出。

² 2016年12月30日時点のマーケットおよびブルームバーグのデータからブラックロックが算出。

³ 2016年12月30日時点のマーケットおよびブルームバーグのデータからブラックロックが算出。

⁴ 2016年11月30日時点、ブラックロックが算出。

- iシェアーズのスマートベータ ETF に対する需要も強まり、流入額は過去最高の 200 億ドルとなりました。iシェアーズは、最小分散 ETF への流入額が 90 億ドルに達し、引き続き世界のスマートベータ ETF 市場シェアで首位（37%）となりました。
- 長期投資の中核商品群として位置づけられている iシェアーズ・コア ETF への流入額は過去最高の 670 億ドルとなりました。昨年 10 月に、ブラックロックが米国の iシェアーズ・コア ETF の手数料を改定して以降、iシェアーズ・コア ETF に対する需要が急速に拡大し、270 億ドルの流入を記録しました。2016 年にはオーストラリアとアジアでも iシェアーズ・コア ETF の販売が開始されました。
- デリバティブよりシンプルで低コストの代替投資手段を模索する世界の機関投資家により、先物やスワップから iシェアーズ ETF に移行された資金は約 100 億ドルに上りました。

ブラックロックの i シェアーズおよびインデックス投資グローバル責任者マーク・ウィードマンは以下のように述べています。

「iシェアーズETFは、あらゆる規模の投資家に向けてより効率的で精緻なポートフォリオの構築に貢献しています。2016年は過去に例のない政局の変化に加えて、市場がたびたび大きな不透明感に覆われましたが、市場見通しの実現、超過収益の追求、長期的な投資手段として、投資家によるETF投資への資金流入は過去最多となりました。」

「ETFおよびより広義のインデックス投資への歴史的なシフトはまだ初期段階にあるとみています。機関投資家によるETFの活用拡大および、リテール分野における残高に応じた手数料ベースの投資アドバイスへの移行の本格化に伴い、今後数年間に数兆ドルの資金がETF市場に流入する可能性が予想されます。引き続き投資家は、長期または短期的な投資アイデアの実践に際してのインデックス投資の効率性、品質、価値に注目しています。」

ブラックロックの i シェアーズ アジア太平洋責任者スーザン・チャンは以下のように述べています。

「2016年はアジア太平洋地域のあらゆるタイプの投資家でiシェアーズの利用が拡大した結果、資金流入額は過去最高を記録しました。アジア太平洋地域における債券ETFへの投資は、マクロ・イベントに対応した資産配分ツールとしてのETFの簡便さとポートフォリオ構築におけるETFの活用の拡大を反映して、前年までの水準を大きく上回りました。こうした傾向は、アジア太平洋地域の投資家によるETFの活用が一段と高度化していることを示しています。」

ブラックロック・ジャパン株式会社 iシェアーズ事業部門長兼 iシェアーズ事業部長ジェイソン・ミラーは以下のように述べています。

「2016年も、さまざまなニーズを反映して日本の機関投資家からのiシェアーズETFに対する需要は引き続き堅調でした。年初頭の日銀によるマイナス金利政策導入を受けて、国内の機関投資家は海外債券への迅速な資産再配分の手段としてiシェアーズの活用を進めました。iシェアーズETFの品揃えは日本株式から海外資産まで多岐にわたり、日本の投資家が資産配分を行う際のiシェアーズETFの活用がより一層拡大しています。また、リテール市場でのラップ型商品の拡大も、個人投資家によるiシェアーズETFの利用に拍車をかける形となりました。2017年にはこうした構造的変化の加速が予想されます。」

ブラックロックの2017年のグローバルベースのETFおよびインデックス投資の見通し

- 1. アクティブ運用対パッシブ運用という構造がアクティブ運用およびパッシブ運用に変化。**世界の投資家がファイナンシャル・アドバイザーや資産運用会社に価値のある質の高いサービスを求める結果、良質なアクティブ・ファンドと並行してETF およびインデックス・ファンドを利用してアクティブ・ポートフォリオを構築するケースが増える可能性が見込まれます。
- 2. ファイナンシャル・アドバイザーは個別投資商品の選別からポートフォリオ構築へのシフトを継続する見通し。**手数料ベースの投資アドバイスへの移行が加速するにつれて、ファイナンシャル・アドバイザーは顧客のコア・ポートフォリオを、インデックス・ファンドと実質的な運用内容があまり変わらないのにコストが高いアクティブ・ファンドから、低コストのインデックス運用にシフトさせると予想されます。
- 3. 債券ETFが引き続き債券市場の進化を牽引する見通し。**市場インフラが厚みを増し、手数料ベースの運用環境が広がり、世界のファイナンシャル・アドバイザーが低コストで規模を追求できるETFに目を向けるようになるにつれて、債券ETFの利用が本格化することが期待されます。今後も債券ETFは債券取引方法の変革を促すと見られ、投資家が金利上昇局面に対応し、ポートフォリオのインカムゲインを確保しようとするにつれて、重要な役割を果たすことが見込まれます。
- 4. 投資家は、投資対象からのリターンの源泉を捉えることを目指すファクター・ベースのETF戦略に移行する見通し。**スマートベータETFでは、個人投資家や機関投資家がポートフォリオの重要な要素として、超過リターン獲得の可能性と低コストの両方を求めるようになるにつれて、最小分散戦略と並んでマルチファクターおよびシングルファクターETFが成長を牽引するようになることが期待されます。債券分野でもスマートベータの革新が進むと予想されます。

5. **機関投資家はデリバティブの代替資産としてETFへの投資を拡大させる見通し。**銀行の資本コストの上昇が続いており、それに伴い先物やスワップの取引コストも上昇しています。一方でETFはコスト効率の高い投資商品であるだけでなく、シンプルで正確なエクスポージャーを確保する手段として、その認知度が高まっているものと考えます。

iシェアーズの全世界での運用資産残高は、2016年12月31日現在で1兆3,000億米ドルでした。

以上

重要事項

本資料は、報道関係者の方を対象に、ブラックロック・インクを含むそのグループ会社（以下、「ブラックロック」という。）が2016年の世界のETF市場への新規資金流入額に関する情報の提供を目的として、ブラックロック・インクが作成したプレスリリースをブラックロック・ジャパンが翻訳したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。本資料は弊社が信頼できると判断した資料ですが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、本資料は、将来の投資成果を保証・約束するものではなく、その内容は将来予告なく変更されることがあります。i シェアーズ ETF 東証上場シリーズは、ブラックロック・グループが運用するETFで、東京証券取引所に上場されている商品の総称です。ブラックロック・グループが設定を行うものと、海外籍のETF等を受託有価証券とする日本預託証券（JDR）形式で上場されているものの2種類があります。i シェアーズ ETF 東証上場シリーズへの投資による損益はすべて投資家の皆様に帰属します。投資をご検討される際は、上場後に取扱い金融商品取引業者にて交付される契約締結 前書面等を十分にご確認の上、ご自身でご判断下さい。

著作権について

本資料の著作権は、ブラックロック・ジャパン株式会社に帰属し、全部又は一部分であってもこれを複製・転用することは社内用、社外用を問わず許諾されていません。©2017 BlackRock Japan Co., Ltd. All rights reserved. iShares® (i シェアーズ®) および BlackRock® (ブラックロック®) は ブラックロック・インクおよび米国その他の地域におけるその子会社の登録商標です。他のすべての商標、サービスマーク、または登録商標はそれぞれの所有者に帰属します。

ブラックロックについて

ブラックロックは、グローバルに資産運用、リスク・マネジメント、アドバイザー・サービスを提供している世界有数の資産運用会社です。2016年9月30日現在、運用資産残高はグループ全体で総額5,1兆米ドル（約518兆円）にのびます。ブラックロックでは、お客様のニーズに応じて、アクティブ、エンハスト、インデックス等の戦略を駆使して市場や資産クラスを跨いだ様々な運用サービス及び商品をご提供しています。そうした運用サービスや商品は、投資一任口座、ミューチュアル・ファンド、iShares®ETF（上場投資信託）等、多様なスキームで運営されます。また、ブラックロックは、ブラックロック・ソリューションズ®を通じて、リスク・マネジメント、アドバイザー・サービス、全社的資産運用プラットフォーム提供サービスを機関投資家にご提供しています。ブラックロックは、北米、南米、欧州、アジア、オーストラリア、中東、アフリカ等、世界30カ国以上の拠点と従業員約13,000名で事業を展開しています。

iシェアーズについて

「iシェアーズ®」は、ブラックロック・グループが設定・運用するETF（上場投資信託）のブランドで、運用残高で1兆2,537米ドル（約127兆円）※、世界で約4割の市場シェアを有します。iシェアーズETFの強みはラインナップの豊富さにあり、株式、債券、コモディティと幅広い資産クラスにわたり、世界で790銘柄以上が約20の証券取引所で取引され、機関投資家から個人投資家まで幅広い投資家の支持を得ています（2016年9月末時点）。www.blackrock.com/jp/ishares/

※ 2016年9月末現在。1ドル = 101.27円にて円換算

ブラックロック・ジャパン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第375号

加入協会 / 一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会、日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

ウェブサイト www.blackrock.com/jp/

〒100-8217 東京都千代田区丸の内一丁目8番号3 丸の内トラストタワー本館 Tel. 03-6703-4100（代表）